

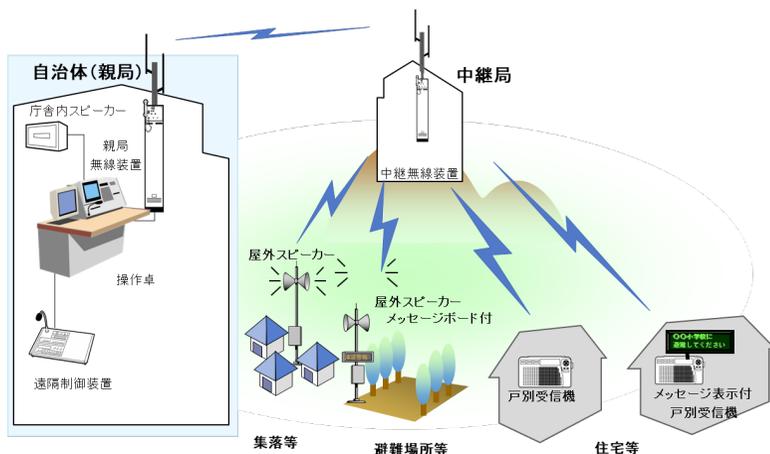
# 参考資料2



# (参考) 防災行政無線等の概要①

## <市町村防災行政無線（同報系）>

- ・市町村庁舎と地域住民とを結ぶ自営の無線網で、地域住民に防災情報を一斉伝達
- ・送信局、中継局、屋外スピーカー、戸別受信機等から構成



## <市町村デジタル移動通信システムを活用した同報系システム>

- ・市町村が設置した基地局と車両等に設置した移動局等で相互通信を行うデジタル方式の移動通信システムを活用し、地域住民に防災情報を一斉伝達
- ・送信局、屋外スピーカー、屋内受信機等から構成



## <MCA陸上移動通信システムを活用した同報系システム>



- ・タクシー会社や運送会社等の民間企業等が利用する無線網を活用し、地域住民に防災情報を一斉伝達
- ・送信局、屋外スピーカー、屋内受信機等から構成

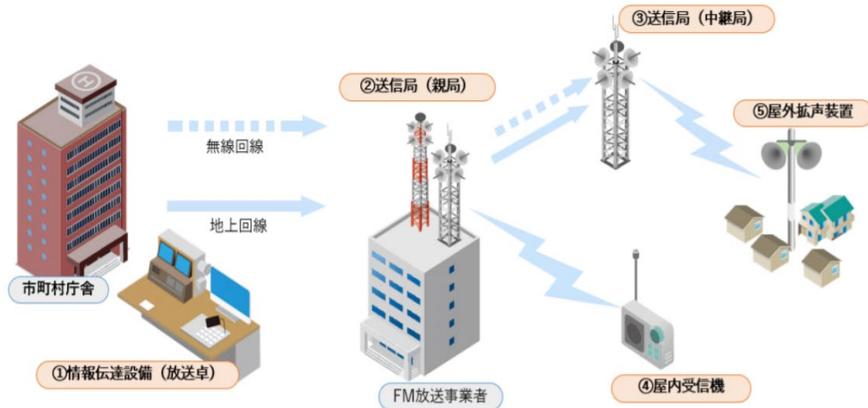
※デジタルMCAシステムの通信サービスが2029年（令和11年）5月31日をもって終了するため、サービスが終了するまでに他の防災行政無線等の手段を整備するなど、引き続き住民に対して迅速かつ確実に災害情報を伝達できるよう、計画的な運用をすることが必要である。



# (参考) 防災行政無線等の概要②

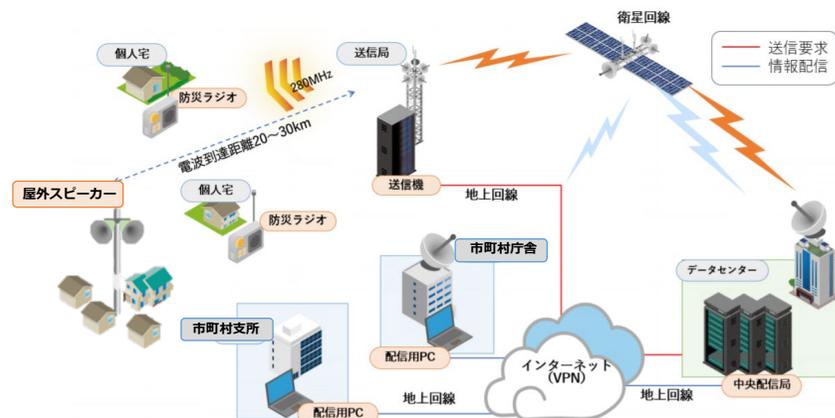
## <FM放送を活用した同報系システム>

- ・既存のFMラジオ局を活用し、地域住民に防災情報を一斉伝達（ラジオ局の設備を利用するため、比較的安価に整備可能）
- ・放送卓、屋外スピーカー、屋内受信機（自動起動ラジオ）等から構成



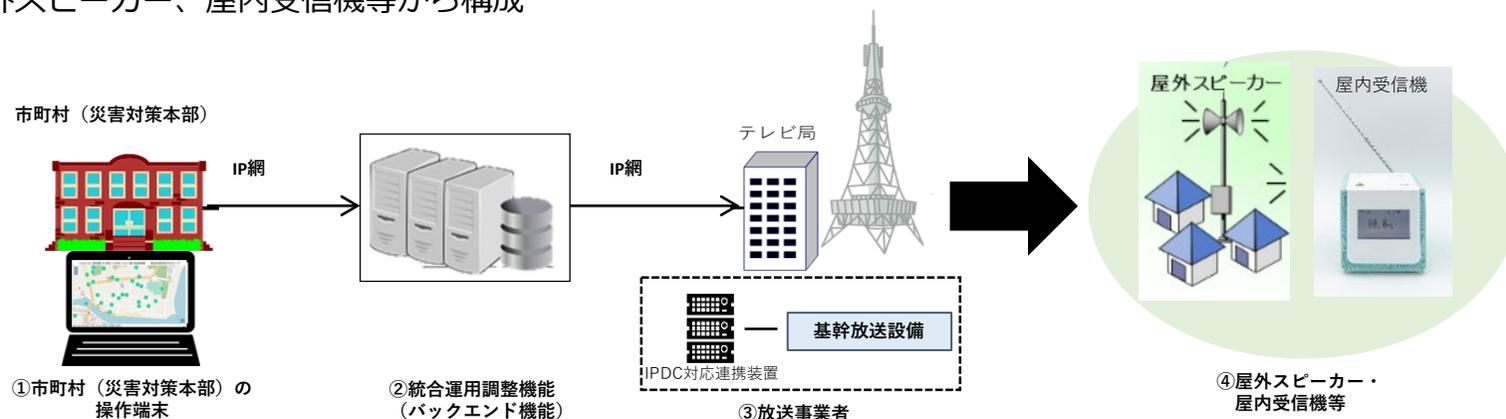
## <280MHz帯電気通信業務用ページャーを活用した同報系システム>

- ・ポケットベルの技術を利用し、地域住民に防災情報を一斉伝達（通信事業者の設備を利用するため、比較的安価に整備可能）
- ・送信卓、屋外スピーカー、屋内受信機等から構成



## <地上デジタル放送波を活用した情報伝達システム (IPDC) >

- ・放送事業者と利用契約を結んで地上デジタル放送波を活用し、地域住民に防災情報を一斉伝達（既存の地上デジタル放送網を利用するため、比較的安価に整備可能）
- ・送信卓、屋外スピーカー、屋内受信機等から構成

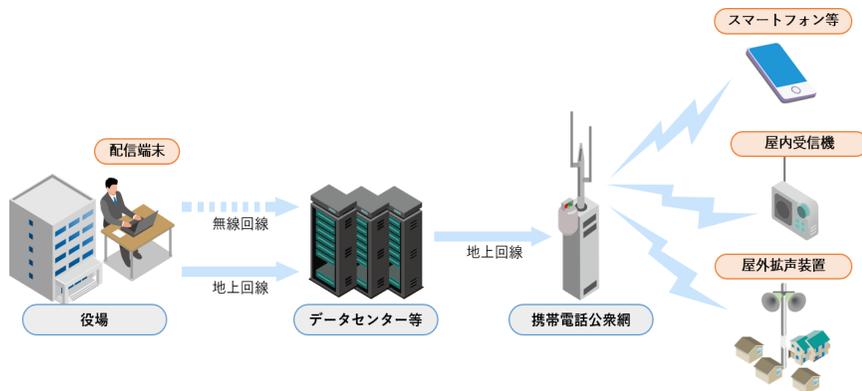




# (参考) 防災行政無線等の概要③

## <携帯電話網を活用した情報伝達システム>

- ・ 既設の携帯電話網を活用し、地域住民に防災情報を一斉伝達（導入時、新規に建設する設備が少ないため、比較的安価に構築可能）
- ・ 放送卓、屋外スピーカー、屋内受信機（スマートフォン）等から構成



## <ケーブルテレビ網を活用した情報伝達システム>

- ・ 既存のケーブルテレビネットワークを活用し、地域住民に防災情報を一斉伝達
- ・ 送信卓、屋内受信機等から構成



## <IP告知システム>

- ・ IPネットワークを活用し、地域住民に防災情報を一斉伝達
- ・ 送信卓、屋内受信機等から構成

